1日でも早くレギュラーになる

森の決意

激励会

堺中央出身の西武ドラ1捕手

埼玉西武ライオンズ

堺中央ボーイズ出身で、昨年のドラフト1位で西武に入団した森友哉捕手の激励会が、昨年12月22日に大阪・堺市内のホテルで、竹山修身堺市長、日本少年野球連盟の藤田会長ら約150人を集めて開かれた。また、恩師からエールのメッセージを送られた。

（7面に関連記事）

11月にJR新今宮駅で人命救助をした森捕手（右）と久米君（左）は竹山堺市長と記念撮影

元Bs大西さんら先輩からエール

森捕手は入団激励会で「ここからは苦しい日々が続くと思うんですけど、死に物狂いで頑張って、一日でも早く、1軍でレギュラーとして試合に出られるように頑張りたいと思います」と決意表明した。

シンガー・ソングライターの西浦達雄さんがサプライズゲストで登場し、生歌を披露。阪神・藤浪投手、西岡内野手ら大阪桐蔭高OBから祝電も届いた。堺中央の瀬野代表は「皆さんはすぐに1軍、すぐに活躍してほしいと期待されますけど、長く野球をやってくれるために、長い目で彼の成長を見守ってほしい」と親心をのぞかせた。

堺中央の先輩で、オリックスなどでプレーした大西宏明さんは「僕みたいにセンスだけなら、9年でクビになるんですよ。長い目で見とったら、（DeNAで堺中央出身の）筒香みたいに忘れられる感じもあるんで、すぐにでも1軍でバリバリ活躍してほしい」と笑いを交えて、元プロならではのメッセージを送った。

チームメートと昨年人命救助!!

勇気ある行動もたたえられた。11月16日にJR新今宮駅のホームから、目の不自由な70代男性が誤って線路に転落したのを目撃。チームメートの久米君（和泉ボーイズ出身）と協力して線路へ飛び降り、ホーム上に抱え上げた。後日、JR西日本大阪支社から感謝状が贈呈された。瀬野代表から「久米君が人命救助の一番のヒーローでした」と持ち上げられた久米君は「自分たちも森に負けないように頑張りますので、森もしっかりプロに行って、頑張ってください」とエールを送った。

シンガー・ソングライターの西浦達雄さんがサプライズゲストで登場し、生歌を披露した

恩師・土井監督絶賛「レベル抜けていた」

西武1位の森捕手は、堺中央ボーイズ時代から実力がズバ抜けていた。指導した土井監督は、森捕手が2年生だった6月に就任。すでにチームのエースだった。「野球が好きな野球小僧でしたね。足が速いし、肩も強いし、中学レベルでは抜けていた。本当によく打ったし、アウトになる方が珍しかった」と絶賛の嵐。逆方向への打撃を意識させるのがチームの練習方針で、森捕手はポイントを近くして打っていた。それが今にも生きている。

捕手を兼務し、3年時は春季全国大会で準優勝。選手権大会とジャイアンツカップにも出場し、「JUNIOR ALL JAPAN」米国遠征のメンバーにも選ばれた。「彼ぐらいの能力があれば、いい捕手になる」と確信した通りの活躍を、大阪桐蔭高に入学してからも見せた。

2年春から4季連続で甲子園に出場し、通算打率4割7分3厘、5本塁打、11打点。18U野球W杯（台湾）では、打率4割6厘、15打点で打点王に輝いた。契約金1億円プラス出来高5000万円、年俸1300万円の高卒捕手では史上最高条件で入団した。「身長は小さいけど、パワーや捕手としてのスタイルには自信がある。ずっとレギュラーで、40歳近くまで正捕手で出られれば」と抱負を語った森捕手。

堺中央出身のプロは、DeNAの筒香嘉智内野手、元オリックスの大西宏明さん、元阪神の橋本祐さんに続いて4人目。「堺ビッグ（旧名）のテーマ『強く生きる』というふうにやってほしい」と土井監督は温かい目で見守っている。

森捕手（前列中央）は激励会に集まった堺中央ボーイズ時代の仲間に囲まれ、西武の新しいロゴマークを寄せられ笑顔を見せた

◆森 友哉（もり・ともや）　1995年8月8日、大阪・堺市生まれ、18歳。5歳から庭代台ビクトリーで軟式野球を始め、中学時は堺ビッグボーイズ（現堺中央ボーイズ）に所属。大阪桐蔭高校に進学し、1年秋から正捕手を務め、2年時には藤浪晋太郎（現阪神）とバッテリーを組み史上7校目の春夏連覇を達成した。170㌢、80㌔、右投左打。

ご意見や連絡事項、大会成績などは、左記の編集室へお願いします。
〒531－8558
大阪市北区野崎町5番9号
読売大阪ビル
報知新聞大阪本社事業部内
ボーイズリーグニュース
編集室　黒墓　毅
☎06（7732）2019
FAX 06（6364）1795
Eメール
o-jigyou@hochi.co.jp